

集約化・提案型森林施業 かわら版

平成20年度全国国産材安定供給協議会が開催されました！

「全国国産材安定供給協議会」が4月23日に開催され、19年度の実績報告に続いて、20年度の取組方針が決定されました。

国産材の安定供給体制を整備することを目的として昨年度設立された全国国産材安定供給協議会が4月23日に開催され、昨年度の取組実績について報告されるとともに、今年度の取組方針を決定しました。

当日は、協議会構成員のほか、木材関係団体、モデル組合、モデル組合が所在する県森林組合連合会、全国提案型施業定着化促進部会の構成メンバーなど約70名が集まり、井出林野庁長官の来賓挨拶の後、林野庁から国産材の需給動向、チップなどC材の利用推進、国有林の安定供給の取組みについて説明がありました。

続いて19年度の事業実績について、施業集約化・供給情報集積事業に取り組んだ林業事業体の数は203、うち集約化面積は約3万ha、事業を通じて集積した原木供給可能量情報は約60万m³であり、当初目標(50万m³)を上回ったことが報告されました。このほか、森林施業プランナー育成研修、ふるさと森林会議、素材流通コーディネート事業などの実績についても報告がありました。



挨拶する井出 林野庁長官



主催者挨拶をする
國井 全森連会長

20年度の取組方針については、新たに「ステップアップ研修」を実施するほか、地域ブロックや都道府県の協議会において、森林組合と素材生産事業体との連携促進、C材を含めた原木の安定供給拡大などに重点を置いて活動していくことに決定しました。

なお、協議会の役員は昨年度に引き続き全国森林組合連合会が会長を、(社)日本林業経営者協会と全国素材生産業協同組合連合会が副会長を務めることになりました。



全国協議会の20年度の取組方針

- 20年度の施業集約化・供給情報集積事業の取組予定
森林施業プランナー育成研修に参加する事業体数：約150、集約化に取り組む事業体数：約220、集約化する面積：約3万ha、事業により集積する原木供給可能量情報：約80万m³
- ステップアップ研修の実施
従来からの基礎研修、地域実践研修に加えて、20年度からステップアップ研修を実施。
- 原木の安定供給の拡大
C材を含めた原木の安定供給量の拡大に向けて、地域ブロック協議会、都道府県協議会で検討
- 森林組合と民間事業体との連携促進
施業の集約化に取り組む森林組合と間伐の実施体制を有する民間事業体との連携のあり方について、地域ブロック協議会、都道府県協議会で検討
- 森林情報の集積・活用と不在村所有者対策
地籍調査の円滑化による境界の明確化を図るため、事業により保有した境界等の森林情報の市町村への提供に努めるよう、地域ブロック協議会等で周知
都道府県におけるふるさと森林会議の開催を一層拡大
相続登記者へ施業を働きかけるためのパンフレットを作成するなど司法書士団体との連携を強化

地域ブロック国産材安定供給協議会の開催について

全国7ブロックにおいて、国産材安定供給体制整備に係る地域ブロック協議会が6月6日～6月20日にかけて開催されます。

○地域ブロック協議会の開催日及び開催場所

ブロック名	開催日	開催場所
北海道	6月11日(水)	北海道
東北	6月16日(月)	岩手県
関東	6月10日(火)	栃木県
中部	6月20日(金)	石川県
近畿	6月9日(月)	京都府
中国・四国	6月13日(金)	愛媛県
九州	6月6日(金)	宮崎県

地域ブロック協議会の議事内容(予定)

地域ブロック協議会では、林野庁及び全国森林組合連合会から20年度の施業集約化・供給情報集積事業の実施方針等について説明するほか、以下について、各都道府県協議会からの報告と意見交換を予定しています。

- ①原木の安定供給の実績と今後の取組
- ②原木供給可能量情報の活用
- ③C材の製紙用原料としての安定供給の取組
- ④森林情報の集積・活用及び不在村所有者対策の実績と今後の取組
- ⑤集約化を行う事業体と施業能力を有する事業体の連携強化

※上記の議事内容は予定であり、変更することがあります。

森林プランナー研修(基礎コース)の参加状況

日吉町森林組合等で実施する当研修には、定員を上回る214名の参加希望がありました。新規参加要望の森林組合等を中心に調整の結果、現段階で176名の研修受講を計画しています。

第1回目(5月13日～16日)は近畿及び九州Aブロックを、第2回目(5月20日～23日)は中部B及び中国・四国Aブロックを、第3回目(5月27日～30日)は中国・四国Bブロックを、第4回目(6月3日～6日)は東北AB及び九州Bブロックを、第5回目(6月17日～20日)は関東及び中部Aブロックを中心に研修を行うこととしています。

なお、北海道ブロックの研修は、7月10日(木)～11日(金)に実施することとなりました。

都道府県別基礎コース研修参加者数

ブロック名	都道府県名	参加者数(人)				ブロック名	都道府県名	参加者数(人)					
		組合等	連合会	小計	ブロック計			組合等	連合会	小計	ブロック計		
北海道	北海道	19		19	19								
東北A	青森県	5		5	13	近 畿	三重県	2	1	3	29		
	岩手県	4	1	5			滋賀県	2		2			
	宮城県	2	1	3			京都府	4	1	5			
東北B	秋田県	6		6	7		大阪府	1		1			
	山形県	1		1			兵庫県	2	1	3			
関 東	福島県	7		7	22		奈良県	5		5		8	
	茨城県	2		2		和歌山県	9	1	10				
	栃木県	3	1	4		中国・四国A	島根県	4		4			
	群馬県	3		3			岡山県	3		3			
	埼玉県	1		1			広島県	1		1			
	中部A	東京都	1			1	中国・四国B	愛媛県	6	1	7		26
		山梨県	4			4		高知県	19		19		
中部A		新潟県	6	1	7	九州A		福岡県	4		4		
		富山県	5		5			佐賀県	1		1		
石川県	4	1	5	熊本県	4			4					
中部B	長野県	4		4	九州B	大分県	3		3	7			
	岐阜県	7		7		鹿児島県	4		4				
	静岡県	7		7		合 計	166	10	176		176		
	愛知県	1		1									

次回のニュースレターの発行は6月下旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/syuyakuka/newsletter.html>